

第23回飯塚市地域公共交通協議会幹事会 議事録

日時：令和2年9月4日（金） 14：00～
場所：飯塚市役所本庁1階 多目的ホール

議事次第

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 議 事
 - (1) 議案第1号 飯塚市地域公共交通協議会規約の一部改正について
 - (2) 議案第2号 飯塚市コミュニティ交通体系の再編に係るスケジュールの見直しについて
4. 報告事項
 - (1) 西鉄バス筑豊株式会社による筑豊（急行）福岡線廃止の申出について
 - (2) 次年度の飯塚市コミュニティ交通の運行に関する意見等のとりまとめについて
5. その他
6. 閉会

1. 開 会

事 務 局： 本日の出欠状況は、日高委員、宮井委員の2名が欠席で、本日の出席委員は12名となる。
それでは、第23回飯塚市地域公共交通協議会幹事会を開催する。

2. 会長挨拶

事 務 局： 本協議会会長である久家市民協働部長からご挨拶を申し上げます。

会 長： 本日は台風10号接近の折であるため、効率よく進行させていきたい。今回は新型コロナウイルス感染症による感染防止のため、少人数の幹事会を開催させていただくことにした。本日協議した結果を踏まえ、協議会での書面審議を経て議決の手続をとる予定である。

事 務 局： 議事に入る前に、協議会における本日の議案の取扱いについて説明する。
本日は、協議会でなく幹事会を開催させていただいた。地域公共交通協議会の幹事会については、協議会規約第12条において「協議会に提案する事項について、協議又は調整をするため、協議会の幹事会をおくことができる」と定められている。幹事会で方向性がまとまれば、改めて協議会全体に諮る。感染症の懸念から大人数での開催が困難なため、幹事会が終わった後の協議会は書面開催で議事の賛否を問う形で考えている。
これからの議事進行については、久家会長にお願いする。

3. 議 事

(1) 議案第1号 飯塚市地域公共交通協議会規約の一部改正について

議 長： 「議案第1号 飯塚市地域公共交通協議会規約の一部改正について」を議題とする。
事務局の説明を求める。

事 務 局： (資料1の説明)

議 長： 議案第1号についてご意見やご質問等はあるか。議案第1号についてはこのような方針でよろしいか。

委員一同： (異議なし)

議 長： 議案第1号については、そのようにさせていただく。

(2) 議案第2号 飯塚市コミュニティ交通体系の再編に係るスケジュールの見直しについて

議 長： 「議案第2号 飯塚市コミュニティ交通体系の再編に係るスケジュールの見直しについて」を議題とする。事務局の説明を求める。

事 務 局： (資料2の説明)

議 長： 議案第2号についてご意見やご質問等はあるか。

浦野委員： コミュニティバスの再編を1年延長することについては理解するが、運行業者についても延長されるのか。新たに入札となるのか。

事 務 局： 現在のコミュニティバスの運行については、3年間の協定のもとで年度ごとに契約しているのですが、3月末で契約は一旦終了となる。次年度の運行については新たに業者選考の手続を経て業者を決定したい。本来は3年間の協定となっているが、当面は令和3年度の1年間の契約と考えている。

議 長： 他にご意見・ご質問等はあるか。

田中委員： 資料2「コミュニティ交通体系の再編に係るスケジュールの見直しについて」の、「住民参画・意見徴集の実施」の部分で、市民意見を反映した交通体系と書いてある。飯塚市の1/3の面積を占める筑穂地区は、山間地に集落が散在している。そのような中、現在コミュニティバス及び予約乗合タクシーにより、地区住民の交通手段が守られている。筑穂地区では、31自治会のうち5自治会の範囲内をコミュニティバスが回っている状況。それも大きな幹線道路だけを回っているので乗客が少ないという意見が出ている。

筑穂地区としては、1年半かけて全世帯を対象にアンケートを実施してきたので、その結果に基づいて、筑穂地区内を運行するバスの試行運転を行いたいと考えていた。アンケートについては31自治会を対象に、車がない人、送ってくれる人がいない人、また、行き先・乗車時間などについて2回調査し、行き先別の乗車人数等も把握でき

る内容となっている。このアンケートをもとに役員会を20回以上重ね、筑穂地区における運行ルート、バス停、運行時間を設定し、運行ルートで試乗を行った。その間、筑紫野市の御笠まちづくり協議会が運行する自治会バスも視察した。それでやっと運行ルートや時間、バス停などがまとまって現在計画ができあがった。路線バスがひとつも無い地区なので、コミュニティバスが地元の一番の利便性が高い乗り物となっているため、令和3年度には試行運転を実施していただきたい。住民総出でアンケート調査、集約、自治会長へのヒアリングも行い31自治会長それぞれと協議しながら運行ルートを決め、ようやく来年が交通体系の見直しの時期という話を聞いており、今年は新型コロナウイルスで大変な時期にもなっているが、我々はその前から見直しをやってきているので、何とか我々の検討結果に基づく試行運転を実施していただきたい。我々の考えたルートでは筑穂地区の山間部を回るので、10人乗りの小型バスを計画しており、試乗も3回ほど実施した。

事務局： 従来のスケジュールに合わせて筑穂地区が公共交通に対して取り組んでいることは承知しており、ありがたいと思っている。現在、筑穂地区が調査・研究されている運行案については、詳細までは把握できていないが、まちづくり推進課を通じて話を聞いている。今回、市としてこのように先送りの提案をしており、来年度のコミュニティ交通としては、現状に近い形で運行したい。

田中委員から提案のあった試行運転については、筑穂地区まちづくり協議会が取り組んでいる買い物ワゴンの運行の中でノウハウを活かした運行ができないか、まちづくり推進課と相談している。その成果を今後の筑穂地区での運行に活かすことができると考えている。

市としてスケジュールの見直しを提案し、大変ご迷惑、ご心配をかけて申し訳ないと思うが、この時期までに調査されている事については、真摯に受け止めて今後を活用させていただきたいと考えているのでご了承いただきたい。

議長： これまで、来年度に向けていろいろと検討されたとのことで、もう少し地域公共交通対策課とまちづくり推進課ですり合わせながら、試行運転の検討をさせていただきたい。他にご意見等はないか。

逢坂委員： 仮に1年先送りして、来年度も状況に変化がなければ、また先送りするということになるのか。現在の状況は理解できるが、せつかく前に進もうと協議を行っているのだから、もう一步住民の意見を聞く方法を考えると、集まりをつくるとかで、再来年は進めますとか、進めたいという市の意向はないのか。

事務局： ご指摘のとおり、仮に来年度もこのような状況が続いたとしても、今回提案したスケジュールに沿って、今年度中に素案を作成し、来年度、地区の意見や考えを聞いて計画をまとめていきたい。

議長： 資料2の通り、密を避けスケジュール的にもかなりゆとりを持ちながら、来年度には必ず作成という思いで取り組んでいきたいと考えているので、ご理解いただきたい。

田中委員： 7月27日(月)の協議会で、各地域との協議を開催してほしいとお願いしたら、実施するとのことだった。住民としても一日も早く進めていきたいという思いがある。今回1年延期と言うことで、状況は理解できるが、地域性も活かして検討していただきたい。

議長： 要望ということで承る。他に意見はないか。それでは議案第2号については、そのような方針でよろしいか。

委員一同： (異議なし)

議長： 議案第2号については、そのようにさせていただく。

4. 報告事項

(1) 西鉄バス筑豊株式会社による筑豊(急行)福岡線廃止の申出について

議長： 報告事項1「西鉄バス筑豊株式会社による筑豊(急行)福岡線廃止の申出について」事務局の説明を求める。

事務局： (資料3の説明)

基本的に路線存続に向けて関係者と協議を進めていきたいと考えている。

議長： 説明は以上だが、ご意見やご質問はあるか。

逢坂委員： ぜひ存続に向けて頑張してほしい。それと合わせて、西鉄バスから毎年のように路線廃止の申出があっているように思う。市として西鉄の考えを聞いているのか。以前、委員からも市の幹部が西鉄と話し合いをするとか、意見を聞くとかするべきではないかという意見があったが、それは現在、どのように進んでいるか、どうするつもりなのか教えていただきたい。

事務局： まず1点目だが、対象となっている筑豊(急行)福岡線については、福岡県が開催しているバス対策協議会ブロック別会議でも、市としては存続をお願いしている。同様な意見を持っている関係自治体と一緒に存続のお願いや存続に向けた改善方法の協議などに取り組んでいきたい。

次に西鉄バスとの協議については、昨年度から西鉄バス筑豊、西鉄本社との勉強会を実施しており、様々な情報を共有している。新型コロナウイルスによる事業への影響や、バス路線の中長期的な運行計画などについて意見交換を行っている。市としては、民間路線バスの運営がどういうことになっていくのか、市民目線の利用しやすい交通体系づくりという視点で協議を進めている。今後も西鉄バス筑豊や西鉄本社との勉強会を定期的に開催し、また、住民の皆様に公共交通機関をご利用いただき、飯塚市内の公共交通が維持できるように取り組んでいきたい。

浦野委員： 逢坂委員のご意見のとおり、毎年、協議会で廃止の話が出ているのは事実で、今後、廃止がないとも確約できない。

今回の路線廃止については、2年前に田川市から飯塚市の区間の廃止を申し出たところ、特に田川地区から本数が減っても残してほしいとお願いがあって存続した経緯があるが、自治体からは赤字補填の補助金が出ていない中、この2年間は2千万円以上の赤字が出ている。

今回、来年9月末で筑豊（急行）福岡線の全線廃止のお願いを申し出ている。ルート上の関係自治体では特に福岡地区に入ってから自治体の関心がない。影響がないといった感じで、JR沿線のエリアはしょうがないかなといった状況。ただ、田川市や飯塚市は空港への交通手段がなくなるので、何とか存続できないかと提案をもらっている。単に廃止ということではなく、何とか存続するためにどうしたらよいかといった内容を本社と協議している。決定事項ではないが、仮に飯塚から空港までの間を残すとなった時に、博多駅までは延伸しないことにすれば空港から博多駅の往復30分以上の時間が短縮できるなど、残すためにいろいろな検討をしている。確約はできないが、ここでいろいろな意見を聞きながら、そういう工夫ができるのであれば存続を検討したい。ただ、その工夫も補助金がないとできない。

今回、新たに飯塚市内線の補助金を市にお願いしているのも、市の負担も多くなり、今後も増えることが見込まれる中、市としてどこまで補助ができるのかも含めて検討しなくてはならない。必要な路線で残したいということであれば、何とか検討したいと思うが、現状のままでは維持ができない。

西鉄バス筑豊としては、限られた乗務員を飯塚地区に集中させたいと考えている。直方地区では幹線の廃止申出、田川地区では本件の急行路線の廃止申出をしており、そのような中で飯塚地区に集約できればと思っている。けっして田川地区や直方地区をないがしろにしている訳ではなく、西鉄バス筑豊を残すため、厳しい状況にあることはご理解いただきたい。

青山委員： 来年9月に廃止されると、飯塚から福岡へ向かうバス路線はいくつ残るのか。万が一、JR篠栗線が不通になった場合、バスがなければ福岡へ行けない。参考までに廃止後にどれくらい残るのか教えて欲しい。

浦野委員： 廃止を申し出ているのは急行路線なので、福岡行きの特急は残る。また、10月のダイヤ改正後に現在の飯塚バスターミナルから穂波地区へのルートは嘉穂劇場経由に変更する。将来、大規模商業施設ができた場合は、そこを経由するルートにすることも検討したいと考えている。

議長： 他にご質問はないか。本件は報告事項であるためご了承願う。

(2) 次年度の飯塚市コミュニティ交通の運行に関する意見等のとりまとめについて

議長： 報告事項2「次年度の飯塚市コミュニティ交通の運行に関する意見等のとりまとめについて」事務局の説明を求める。

事務局： 今年度も協議会委員の関係団体に市のコミュニティ交通の運行に関するご意見を伺いたい。幹事会後の書面開催の協議会の中でスケジュール等についてご了承をいただ

れば、令和3年度は現状の運行をベースとして、必要に応じた変更・調整を行うという方針で見直しを想定しているので、そのような趣旨で委員の皆さんに各所属団体のご意見集約をお願いする予定である。改めて文書を送付し作業をお願いすることになる。委員の皆様にはお手間をとらせて大変恐縮だが、ご協力お願い申し上げます。

議 長： 説明は以上だが、ご意見やご質問はあるか。

委員一同： (意見なし)

議 長： 本件は報告事項であるためご了承願う。

5. その他

議 長： その他、何かあるか。

事務局： 緊急の案件があるので説明させていただく。

台風10号に備え、飯塚市として7日(月)のコミュニティバス(5路線)、予約乗合タクシー(全地区)運休の手続きをしている。予約乗合タクシーの予約センターの受付についても7日は休みとしたい。8日(火)については未定。

すでに予約乗合タクシーの予約を入れている方については、センターから連絡し、運行中止について説明する。7日当日の電話予約については、電話にて受け付け中止のアナウンスをするようにする。コミュニティバスについては防災行政無線を使って全市に運行中止の旨をお知らせする。本庁への直接の連絡については、土日を含むが、直が中止の旨を回答できるようにしておく。

浦野委員： 西鉄バス、西鉄電車は、7日(月)は始発から全線運休すると決定した。6日は21時以降随時状況をみながら判断する。最接近が7日9時ごろと予測されているので、昼以降の運行再開になると考えている。ご迷惑をおかけするが、よろしくお願い申し上げます。

6. 閉会

議 長： 以上で、第23回飯塚市地域公共交通協議会幹事会を閉会する。

協議会規約第11条第3項に基づき、議事録署名人を指名する。今回は、逢坂委員、和多委員に署名をお願いする。議事録作成後、事務局が伺うのでよろしくお願い申し上げます。